

# 旧米江旅館本館(北棟・南棟)

[登録日]令和6年3月7日

松江市伊勢宮町535番地

北棟正面：外観



◆建築年代：昭和2年(1927)

◆構造：木造2階建

## ■概要

旧米江旅館本館（北棟・南棟）は、明治24年・25年に松江市の和多見町にあった妓楼が移転し、新地となった伊勢宮町に位置します。

初代当主の米江大輔が全国各地から銘木や珍材、石材等を集め、大正12年（1923）から昭和2年（1927）の5年をかけて完成したと伝えられています。

中庭を挟んで立つ木造2階建ての2棟からなっており、正面となる北棟の玄関には入母屋破風の庇、引き分けの木製建具、玄関上部の妻飾りには2羽の鳩、両脇には蝙蝠の文様が用いられています。

現代的な建造物が目立つ伊勢宮町でもひと際目立つ和のしつらえとなっており、外観に棧瓦、木製建具や出格子、板張りや漆喰塗の壁を用いています。内部の階段、室ごとに異なる意匠や材料が施された客室は、遊興施設としての様式を残し、歓楽街である伊勢宮町の歴史を伝える貴重な建物です。



こうもり もんよう  
玄関両脇の蝙蝠の文様



妻飾りの2羽の鳩

南棟正面：外観



## 位置図

